

小集会予定表:日本昆虫学会・日本応用動物昆虫学会合同大会(2016年3月)

会場名	27日(夜)	28日1回目(夕方)	28日2回目(夜)
A	殺虫剤作用機構談話会	ネオニコチノイド農薬による生態影響～何が、どこまで分かったのか？	多次元画像ビッグデータを活用した動物学の新展開
B	「わかれ」種分化、系統分化、性分化はどこまで理解できたのか？	視覚イメージを利用した害虫管理を学ぶ会 ～赤組～	作物の免疫力を生かした害虫防除を目指して
C	好蟻性生物集会2016 (JIUSI共催)	ゲノムからみた複合適応形質の進化	水田の重要天敵ウンカシヘンチュウの可能性を探る(I)
D	第6回昆虫ホルモン談話会:比留間潔先生退官記念集会「昆虫の変態とホルモン」	近畿地方を中心とした生物地理と保全	生物間相互作用の情報科学 その12 生態系全体から考える植物の被食防衛機構と昆虫の適応機構の作用と進化
E	深化するガ類性フェロモンの真価2015	日本半翅類学会小集会	昆虫の生物音響学の最前線:音・振動による行動制御機構および物理保護技術
F	昆虫分類学若手懇談会シンポジウム	昆虫形態学を劇的に変えるマイクロX線CTを知る集い	第25回昆虫担当学芸員協議会総会「これからの博物館・昆虫館の展示活動」
G	果樹の難防除研究会	侵略的外来生物問題を考えよう～平成27年度新顔たちの最新情報！	昆虫の分子生態学的研究への次世代シーケンサーの活用
H	第18回昆虫の季節適応談話会	“帰ってきた”母性効果共催:昆虫の家族をめぐる進化生態学	研究の充実と発展のための昆虫学者交流集会
I	昆虫免疫夜話 II	第1回 天敵利用を考える会 天敵利用の最近の動向と今後の展開	第22回日本ICIPE協会研究報告会—アフリカ昆虫学への招待—
J	生物的防除をする上で栽培管理をどうすべきか～ピーマンとイチゴにおける事例紹介と数理モデルによる解析～	ミナミアオカメムシを巡る最近の話題	鱗翅類研究の最前線—第69回レピドプテリストゼミナール—
K	第46回ハダニ談話会～紫外線を利用した新たなハダニ防除法確立に向けて:UVダメージと光回復、行動適応～	第15回穿孔性昆虫を語る会	害虫管理と景観生態学:実践的な事例の紹介
L	昆虫のBt・ウイルスへの抵抗性のメカニズム	寄生性ハチ類の集い	英語版, 直翅類研究会 Orthopterists' Meeting in English
M	我が国の害虫管理における導入天敵の永続的利用—現状と問題点—	第20回地表性甲虫談話会例会	KAMEMUSHI TODAY～カメムシ学の現在を語る～

	予定時間(ただし今後のプログラム編成により多少前後する可能性があります)	
27日(夜)	18:45～20:15	
28日1回目(夕方)	17:15～18.45	
28日2回目(夜)	19:00～20:30	

2015年12月12日版